2022－2023 東日本区 理事通信

10月号 Vol.4

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区　東京都新宿区四谷本塩町２番 11 号日本 YMCA 同盟会館２階

“Let's act now for the future”　“Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself !”
「未来に向けて今すぐ行動しよう」　「誰かのために奉仕して　自分のための楽しいクラブライフを！」

理事メッセージ

2022-2023年度 東日本区理事
佐藤　重良（甲府２１）

ＥＭＣ１００日間キャンペーン・推進のお願い

会員増強１００日間キャンペーン(９月１日～１２月９日）が始まり１か月が過ぎようとしています。皆様の部・クラブの推進状況はいかがでしょうか。国際会長・アジア太平洋地域会長からも、成果を出すように、連絡が来ております。９月号でもお願いしましたが、手順は下記のようにお願いしたいと考えております。

①会員増強のチームを編成（３、４人で１チーム)する。
　ＡチームはＹＭＣＡの関連の候補者
　Ｂチームは一般の・友人・知人の入会候補者
②チーム毎に入会候補者のリストアップ(フォームあり)
③リストアップした候補者へ「例会」､「イベント」へのお誘いをする。
④１２月２３日に成果発表（予定）です。
　成果を期待しております。

新クラブ誕生の背景にあるもの

９月３日、甲府やまなみクラブが誕生しました。昨今のコロナ禍の中、新クラブ誕生までの経過をパワポにまとめました。(佐藤節子会員増強事業主任がアジア太平洋地域・EMCセッションで９月２３日発表したものです）皆様にご披露したいと思います。(巻末添付資料参照)

設立には大変長い間コロナ禍で苦心されたことと思います。（準備委員会開始からチャーターまで、足掛け４年のうち中断１８か月）その苦難を乗り越えて、設立されたことは「メンバーのみんなが、まちづくりに貢献しよう」との執念があったからと思います。以下にまとめてみました

・スポンサークラブの記念事業としての後押し
・国際の入会条件の緩和：これまでの１５名以上から５名以上でも設立可となった事
・東日本区Change！２０２２の推進チームの後押しがあったこと
・キーマンの新クラブ設立の情熱、強い信念
・キーマンの熱心な説得力・リーダーシップ
・２人のキーマンの強い絆と強固な人脈確保

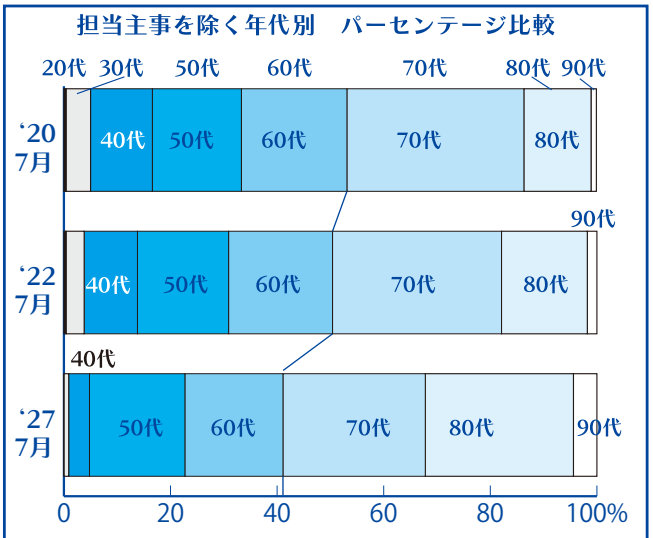
と数々の好条件があったと思いますが、最大の要因は「２人のキーマン」の諦めない・強い信念にあったと思います。心から、敬服と感謝申し上げます。

東日本区の平均年齢分析

（２０２２年７月１日現在）
東日本区（５８クラブの）の平均年齢表が完成しました（小山憲彦さん・東京サンライズクラブ）
大変ご尽力いただきました。ありがとうございます。主な事項を分析してみました

１　２０２２年７月　７７０名　平均年齢６６.３歳
２　最も平均年齢が高いクラブは、平均年齢82歳
３　最低平均年齢４６.５歳（東京ベイサイド）
４　平均年齢７５歳以上のクラブ数１１クラブ
　　全体の１９％
５　８０歳以上のクラブ員の人数
　　１３１名　全体の18%
　（いずれも担当主事を除く）

詳しくは巻末添付資料をご参照ください。〈次ページへ続く〉



⑬ページの推計表を元に編集部で作成

目次

佐藤理事メッセージ	1-2
感動のチャーターナイト	2
今月の強調テーマ「ASF」	3
清藤書記から	3
IYC報告（川口夏菜子RYRほか）	4,5
CS・Yサ事業主任より	6
国際・交流事業主任より「使用済み切手収集」	6,7
ユース事業主任より	7
BF代表来日～2023年3月に延期	8
次期部長・事業主任研修会は12月4日に延期	8
100周年祝賀式典は2023年3月10日–12日に延期	8
YMCA報告	9
BF滞在予定表～来日は2023年3月に延期	10
東日本区事務所便り	11
＊東日本区クラブ別平均年齢	12
＊会員数推移とパーセンテージ	13
使用済み切手納品書	14
使用済み切手収集フロー図	15
EMCのEについて　（資料）	16-20

2022年9月3日　甲府やまなみワイズメンズクラブ　国際協会加盟認証状伝達式　於甲府・ホテル談露館

〈前ページより〉

プロボノを活かした楽しい活動

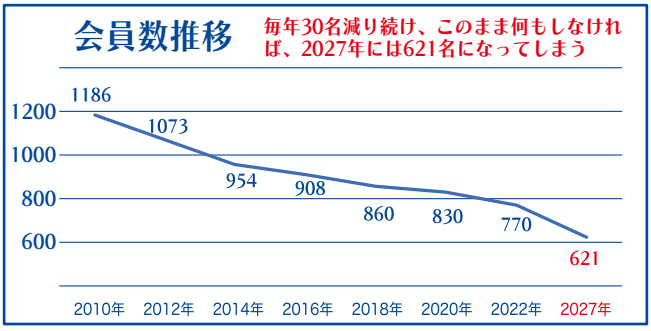
理事メッセージ

（敬老の日の記事から）

８１歳のAさん、若いとき水道工事請負の工事会社をしていた。８０歳を超えたので店を廃業して、ボランティアとして「ちょっとお助けマン」を始めた。ご近所で水道や電気のことで困った人から頼まれて、小さい修理は請けて直してあげる。年配のお家で草刈りができなくて困っている人には草刈りなどもしてあげる。仕事が終わったら「ありがとう・助かりました」と言われると、本当にやってあげて良かったと、「心と体がうれしい反応をする」と語られていました。また、仲間といろいろな会話もでき楽しいとも言っていました。

プロボノを活かした、社会貢献できる、ワイズメンにも参考になる話題と感じました。

［文・佐藤重良］



感動のチャーターナイト！

仙洞田　安宏（甲府やまなみクラブ）

甲府クラブ70周年記念事業の一環として取り組んできた、甲府やまなみワイズメンズクラブの国際協会加盟認証状伝達式（チャーターナイト）が、9月3日（土）、甲府市のホテル談露館において開催されました。

伝達式（第1部）は、藤原一正・甲府やまなみクラブ会長の点鐘で開会、スポンサークラブである甲府クラブ・田中克男会長の挨拶の後、私（新クラブ設立準備委員長）から、設立経過報告を致しました。

この後、栗本治郎Change! 2022推進委員長の司会・進行で伝達式が執り行われました。佐藤重良東日本区理事の入会式式辞と認証状の伝達があり、チャーターバッジが新メンバーに装着されました。チャーターメンバー（11人）の紹介、バナーの披露と続き、野々垣健五 山梨YMCA理事長と佐藤理事から祝辞を頂戴しました。東日本区と関係クラブ（甲府クラブの子クラブ）から記念品の贈呈等があり、最後に藤原会長の決意表明と閉会点鐘で第1部の幕を閉じました。

第2部の祝会は、華麗なフラメンコの舞でオープン。激励の言葉は元国際会長の藤井寛敏さんと元東日本区理事の原俊彦さんにお願いしましたが、これは甲府クラブのレガシーを意識してのものです。設立経過報告でも触れましたが、70有余年の歴史を紡いできた甲府クラブの先輩会員に改めて感謝と敬意を捧げたいと思います。コロナ禍にも拘らず75名の参加者があり、久し振りに対面するメンバーも多く、祝会も盛り上がったようです。最後に設立に当たりご指導、ご協力をいただいた、甲府クラブの皆様、東日本区役員の皆様に心より御礼申し上げます。

［出典：甲府やまなみクラブブリテン10月号より］

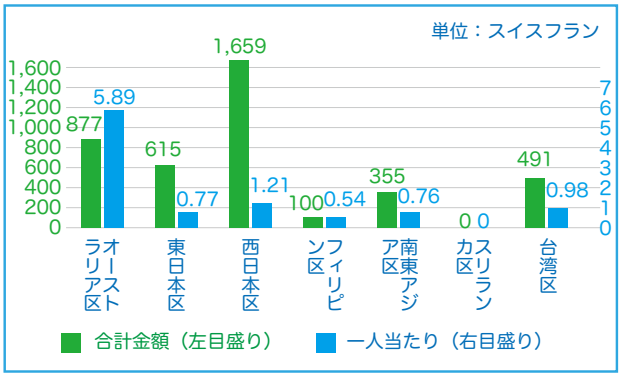
今月の強調月間テーマ「ASF」

アレキサンダー奨学基金

YMCAへの私たちの思いを込めて

国際ASF事業主任
田中博之　（東京多摩みなみ）

10月はアレキサンダー奨学金（ASF）の強調月間です。
この機会にASFのことをもっと良く知っていただき、このプログラムへの皆さまの一層のご支援をお願いいたします。
ASFは、ワイズメンズクラブ国際協会の創設者であるポール・ウィリアム・アレキサンダー判事の志を受け継いで、彼の名前に因んで、1954 年に設立されました。
以来68年間、ASFは、主にYMCAスタッフやYMCAに繋がる青少年のための奨学金や研修プログラムを提供し、世界各地のYMCAを財政的に支援してきました。ASFは、私たちのYMCAとの密接な関係の証しです。
東日本区を含め、各区でASFのために集められた献金の30%は、国際ASF献金として国際本部に送られます。このお金は、世界YMCA同盟と協議の上、世界レベルの運動の特定の目的のためにYMCAに寄付されることになっています。近年では、毎年10,000スイスフラン（145万円）以上が国際ASF献金として送られてきています。この基金は、例えば、若いYMCA会員が地域社会の変革者となるための「チェンジエージェント」活動の支援、2019年8月にロンドンで開催されたYMCAの175周年記念式典の支援、新型コロナウイルスの流行によって困窮している世界各地のYMCAを支援するための「YMCA連帯基金」への拠出などに使用されています。
残りの70%は、各区で保持され、その地のYMCAスタッフやユースリーダーの研修、育成に活用されています。東日本区では、CS献金と合わせて、CS・Yサ・ASF資金として、2021-2022年度には、日本YMCA同盟の要請に基づいて、「全国YMCAリーダー研修会」、「学生YMCA夏季ゼミナール」、「日韓学生YMCA交流会」および「全国YMCAオンライン研修会」に、総額100万円の支援を行いました。
2021-2022年度のアジア太平洋地域各区の国際ASF献金の実績（合計金額および会員一人当たりの献金額：スイスフラン）は、下図のとおりです。
東日本区の皆さまのご支援に感謝申しあげるとともに、今年度、一層のご協力をお願い申しあげます。



（この記事は、国際会長ニュース10月号に掲載の記事を東日本区用に一部書き直したものです。）

東日本区　書記からのお知らせ

▶国際投票権　特例申請結果
　国際投票権はクラブ会員１５名以上国際会費３半期を支払っていることが条件ですが、特例申請（設立から２５年を経ていて、直近３半期で５名を下回っていないクラブ）で、投票権が得られる対象クラブは２９クラブ、その内、今回以下の１１クラブから申請希望が出され、手続きを済ませました。
前橋、仙台青葉城、千葉、埼玉、東京むかで、松本、東京八王子、横浜、鎌倉、横浜とつか、富士

▶TOFプロジェクト募集
　TOFといえば、２月のクラブ例会での食事を抜いてその額を国際協会に献金することだ、と思っておられる方が多いかもしれません。その献金は、SDGｓに関連する発展途上国を主に対象とする地域支援プロジェクトに用いられます。田中アジア太平洋地域TOF事業主任より、TOFプロジェクト応募に東日本区もトライしてみては如何かと提案がありました。区内で途上国等の支援をしているプロジェクト等の情報収集に努め、検討していきたいと思います。どうぞ自薦他薦で挑戦してみては如何でしょうか？応募締め切りは３月です。詳しくは田中アジア太平洋地域TOF事業主任へ、
E-mail: mla40601@nifty.com

▶第２回東日本区役員会のお知らせ
　11月５日午後７時からオンラインで役員会を開催予定です。各事業主任、各部長、各委員長の皆様、これまでの報告をしていただきますので、そろそろご準備のほどよろしくお願いいたします。

【IYCご報告】

2022-23年度東日本区ユース代表（RYR）
宇都宮クラブ推薦
とちぎYMCAスタッフ　川口 夏菜子

9月4日(日)から9日(金)までタイのチェンマイで開催されたワイズメンズクラブ国際協会第18回国際ユースコンボケーション2022（IYC2022）に参加させて頂きました。今回のIYCは、ワイズメンズクラブ国際協会設立100周年の記念の年に開催されたことや、新型コロナウイルス感染症拡大のため3年を経ての開催になったこともあり、参加のユース一同、初日からエネルギーに満ち溢れていました。内容としては、環境や、若者の心の健康についてそれぞれの置かれている立場を踏まえてのディスカッション、お互いの文化について紹介をし、理解を深めるカルチャー・ナイト、コミュニティーサービスについて知る、施設や学校の訪問等と6日間の中で様々な学びを得ることが出来ました。

参加者は、全体で74名/うち24名がアジア太平洋地域からの参加（東日本区5名、西日本区1名、ネパール4名、フィリピン8名、タイ6名）で、他にもケニア、ガーナ、ナイジェリア、ジャマイカ、エストニア、インド、韓国、チリ、アメリカ等と様々な国のユースと関わることができました。特に次回のIYC開催国であるインドからは26名の参加と、非常に存在感がありました。そのような中でも日本チームの参加者は、カルチャー・ナイトにて、「ソーラン節」を披露し、見事ベストパフォーマンス賞を獲得することが出来ました。「どっこいしょ、どっこいしょ、ソーラン、ソーラン」の掛け声を一緒にしてもらうことで、会場が一体となり、カルチャー・ナイト以降も「ソーランもう一回やってみて！」とリクエストされることもあり、よい交流のきっかけになったのではないかと思います。

今回のIYCの中で私が最も印象に残っている出来事は、バーンガードウィッタヤーコム高校への訪問です。こちらの高校は公立校ですが、選択科目の中に英語・中国語・日本語の履修があり、何名かの生徒からは日本語での歓迎の言葉を受けました。また、高校の一角に他の場所とは雰囲気の違う場所があり、進んでいくと日本語で「タイ　ビルマ方面戦病没者追悼の碑」と書かれた旧日本軍の慰霊碑がありました。第二次世界大戦の際にインパール作戦で亡くなったタイ北部やミャンマーなどからの戦没者の遺骨が納骨されているそうです。私の知らない戦争の歴史が、この土地で弔われていることに驚くと同時に、今まで知らなかったことに対して申し訳なく思いました。さらに、説明を聞いたインドのユースや、フィリピンのユースが手を合わせていたことにも心動かされました。私たち日本人の先祖が、インド・フィリピンの方たちを多く傷つけた歴史があると聞いております。戦後77年が経ち、今まで交じり合うことのなかった私たちが、たった6日間で心を通わせ、互いの心の傷に寄り添い、互いの為に祈ることが出来るのならば、世界はより“よくなっていく”と確信する出来事でした。そして、私も人のために祈れる人であり続けたいと強く思いました。

最後に、このような貴重な機会を頂けたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

以下、東日本区からの参加メンバーによる感想文です。

▼伊藤瑠南（東京八王子クラブ推薦）
中央大学1年/中央大学YMCAひつじぐも

“タイのチェンマイでの海外研修”という文字が、自分の大学の所属する学Yサークルのグループラインに送られてきたときに興味を持ち、行きたい人のところに投票したのが一生涯の宝物を得るきっかけでした。このときは、まさか自分が行けるなんて思っていなかったし、ましてや帰国後もずっと連絡を取り続けあう国境を越えた親友に出会えるなんて思ってもいませんでした。今回の

IYCを通して多くのことを学び、自分を成長させる良いきっかけになりました。この経験を糧にこれからもいろいろなことに挑戦していきたいです。このような素晴らしい機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

▼木下遥七（川越クラブ推薦）
　埼玉YMCAスタッフ
国の文化の違い、それぞれの過ごしてきた背景の違い、その違いの輝きに魅了されました。今までYMCAでプログラムを行う際に、『違う＝敵ではない』みんな違っていいことを伝えてきました。今回のIYCではそのことを心から思える時間を過ごしました。また、同じ志を持つ仲間に出会え、参加後も電話やSNSで繋がていること、嬉しく思います。
　様々な国の人と関わり親しくなることで世界中で起きていることが身近に感じられるようになる。これが平和に繋がる運動だと私は思います。この運動が広がるような働きがけを私は、YMCAでしていきたいと思います。
　他にも、以下の働きがけをしていきます。
①埼玉YMCAのプログラムに参加する子どもたちへ世界の人からのメッセージを届けること
②世界と日本を比較し、今できることを話し合い自己研鑽すること
③ユースクラブをつくること
最後にこのような貴重な機会を与えてくださった関係者の皆さま、ワイズメンズクラブの皆さまに感謝申し上げます。

▼下田万葉（甲府21クラブ推薦）
　山梨大学4年/山梨YMCAアルバイトスタッフ
渡航前は、異なる背景を持つ海外ユースが社会に対して持っている問題意識や解決策の案を共有することを楽しみにしておりました。しかしながら、一番の収穫は”出会い”であったと感じています。初め、不安に思うことも多かったのですが、興味を持ってたくさんの質問を投げかけてくれるみなさんの温かさに触れ、徐々に心を開くことができました。さらに、朝から晩まで元気な海外ユースと過ごすことで、ユースの持つエネルギーの強さを感じました。帰国後は、語学学校の子どもたちとＩＹＣの様子を共有し、学びをすぐにコミュニティへ還元することのできる喜びを感じております。人生が好転する素晴らしい機会をいただけたこと、心より感謝申し上げます。

▼峯尾心（東京八王子クラブ推薦）
中央大学2年/中央大学YMCAひつじぐも
初めてのIYCへの参加で、出発する前も、到着した後もしばらくは不安で緊張しながら過ごしていました。しかし、後半からは英語でコミュニケーションを取ることに慣れ始め、他の参加者達と楽しく充実した時間を過ごすことができました。
ディベートをした時は、英語が思うように出てこなくて悔しく感じましたが、その時の経験が「もっと勉強をして英語で会話をしたい」と強く感じるようになったきっかけになりました。この経験のおかげで恐れずに英語を話せるようになり、私の自信に繋がったと感じています。今回の活動を通して出会った友達と連絡を取り合いながら、私の英語力を上達させたいと思います。

※氏名（推薦クラブ）所属　50音順

CS・Yサ事業主任より ワールドクリーンアップデー実施報告

地域奉仕・YMCAサービス事業主任
小山　久恵

今年度は皆さまにお願いすることがたくさんあります。
　9月17日はワールドクリーンアップデイでした。各部・各自で自宅の周りや道路・ＹMCAの周囲の掃除をやられたと思います。一人一人の出来ることは小さいことかもしれませんが、東日本区のクラブ会員770人他が参加し清掃することは、大きな力が発揮されたと思います。皆さんありがとうございました。
次回は2023年4月の「W4W」です。ご協力お願いします。
　コロナ禍で、CS活動ができなかったクラブは、周りの状況を見ながら、ぼちぼち活動を開始することも考えてみませんか。
　ロースターに職業欄がなくなったため、新たに、会員の趣味、特技をお聞きし、会員間で役に立てていただくことにしました。特に何もないという方も、お酒が好きです、というのでも結構です。ご自分の趣味を卓話で話してくださったり、本職につながる活動をしてくださるのも助かります。
また、環境問題についても考えていただきたいので、クラブで話し合う機会をお持ちください。

2022年9月17日（土）山梨ＹＭＣＡを拠点とするワイズメンズクラブではＹＭＣＡの廻りの清掃と、フラワーポットの整備を行いました。

国際・交流事業主任より BF使用済み切手の収集の取扱いについて

国際・交流事業主任　利根川　太郎

・使用済み切手収集を、東日本区として継続して推進していきます。
・使用済み切手収集は、各クラブの自主的な活動であることが原則です。
・各クラブからの切手集荷方法は、原則区大会での集荷または東日本区事務所持参でお願いします。
・2月15日までに東日本区事務所に持参された切手を当年度の実績とします。
・2月16日以降に持参された切手及び区大会で集荷された切手は次年度の実績とします。

背景

1. 5月に国際協会で名称変更（Brotherhood FundからBuilding Fellowshipに）を含めて、大幅な制度改定がありました。制度改定の作業の中でもBF切手収集についての議論があり、無（価値の無いもの）から有を生じさせるBF精神（もともとBF献金は、使用済み切手の換金だけが財源）を大切にしていこうということで存続が決まり、プロモーション活動にも力を入れていくとなりました。
2. 第1回国際・交流事業委員会で以下の意見がありました。
   ・関東東部では、千葉クラブと川越クラブが行っています。千葉クラブからは1年に1回とはならないですが、集まって整理するのも楽しみの一つです、との報告がありました。以前は部会で持ち寄って東京の事務所に届けていました。楽しく実施しているところもあります。
   ・東京町田スマイリングクラブは、昨年切手を20Kg集めています。新宿の業者まで、持って行きました。今年も様々な企業や個人の協力で同じくらい集まっています。整理は大変ですが、コロナで出歩けないので、皆さんで楽しくやっています。こういったメリットもあります。送付コストについては、近いので直接持参し問題になっていません。できれば今後も続けてほしい事業です。
   ・去年も切手収集は続けていました。コスト的にはメリットは少なくなっていますが、集中していけばできることと思います。やることの意味はあり、集約の仕方の工夫、無駄にしないで集約させる方法を考えた方が良いと考えます。
   ・あずさ部では第2回評議会で集めて、あずさ部から持参する方法をとっています。
3. 換金で得られる金額と送料のバランスが取れていない（コスト倒れ）については、集荷方法

〈次ページへ続く〉

ユース事業事業主任より

ユース事業主任
衣笠 輝夫

1．インターナショナルユースコンボケーション２０２２（ＩＹＣ２０２２）　９月４日～９日、タイ　チェンマイＹＭＣＡで開催されたＩＹＣ２０２２に東日本区より５名、西日本区より１名、計６名が日本から参加し、全員無事に帰国しました。
参加したユースは７４名、内アジア太平洋地域から２４名でした。アジア太平洋地域役員として利根川恵子国際議員も参加しました。
ＩＹＣ現場の様子については川口さんのレポートをお読みください。④⑤ページ

2．第３４回ユースボランティア・リーダーズフォーラム（34ＹＶＬＦ）が2022年9月30日(金)～10月2日(日)東京ＹＭＣＡ山中湖センターで相磯優子実行委員長(沼津クラブ)のもと開催されました。３０名のリーダー、５名のカウンセラー、３名のＹＭＣＡスタッフ(担当ＹＭＣＡスタッフ２名除く)と、ワイズメンは部分参加含め、20名が参加しました。久々に若者に交じり午前2時近くまで語り合ったことは、私にとっても実り多いフォーラムになりました。又聖日礼拝には、塩澤とちぎＹＭＣＡ総主事が駆けつけて奨励をしていただきました。みなさまのご支援を感謝しております。

〈前ページより〉使用済み切手収集について

を工夫します。コロナ禍で曖昧になっていたものをもう一度明確にしました

4.　BFの切手収集は、各クラブの自主性に任されていることが原則です。各クラブの判断で、収集を続ける、あるいは収集を止めて送料にかかっていた金額をBF基金に寄付するなど、対応をお考えください。もちろん新たに収集を始めるのも大歓迎です。

【参考資料・巻末をご覧ください】
・2022使用済み切手収集方法イメージ
・2022使用済み切手納品書(クラブ用)

ＢＦ代表来日は2023年3月に延期となりました

ＢＦ(Building Fellowship)の受け入れ
BF代表としてペルーのロクサーナさんご夫妻が、10月30日～11月14日まで東西日本区を訪問し、その後可能であれば台湾を表敬訪問し帰国する予定です。日本到着時は千葉クラブメンバーが出迎え、その後10月30日～2日まで仙台へ、宮城4クラブ合同で歓迎会、YMCA表敬訪問、東日本大震災被災地視察等の後、東京へ移動、在京有志にて歓迎交流会。11月3日朝には甲府へ移動、山梨YMCA表敬及びバザーに参加、午後市内視察、夕方近隣4クラブ合同歓迎会、翌日4日には富士吉田へ向かい、富士五湖周辺を視察、横浜へ戻ります。5日横浜YMCA、クラブ訪問、夜交流会。6日には西日本区へバトンタッチとなっております。関係される部、クラブ部の協力をお願いします。

2022BF代表プロフィール
氏名：　MESTAS BOLANOS DE PEREIRA ROXANA ESTHER　性別「女性」1962．09．20生　60歳
配偶者：PEREIRA PURTUGAL TITO FERNANDO　性別「男性」1954.11.16生 67歳
国籍：　ペルー　「居住地」リマ市（Jr .Castilla 260-A Magdalena del Mar Lima,　Lima-Peru
所属クラブ：San Borja
地域：ラテンアメリカ
職業：服飾業
宗教；カトリック
趣味；洋服縫物、料理、歌、ダンス、水泳、空手（黒帯初段）。
最も必要とする人を助けるため、働き続けることは非常にやりがいがあります。新型コロナウイルスのパンデミックの中で、より大きな熱意と強烈な気持ちを持って、私たちのモットーをさらに強調します。だから私たちは米、麺、缶詰、ミネラルウォーターその他の食料品のほか、住民の居住地－ヴィラ・マリア・デル・トライアンフのサルバドルキリストに寄付しました。（San Borja Club Facebook記事より）

YMI100周年記念祝賀会は2023年3月10日(金)－12日(日)に延期

新型コロナウイルスへの台湾への入国制限が継続しているため延期となりました。

10月、11月の予定

［10月の予定］
10月1日　関東東部　部大会実施済
10:30～13:30　Zoomにて
8日　東新部　部大会
13:30-16:30@在日本韓国YMCAアジア青少年センター9階
15日　あずさ部　部大会
11:00～15:00@山梨県忍野村「いちい亭」＊富士五湖クラブ20周年も兼ねて開催
22日　湘南・沖縄部　部大会
14:00～16:30@とつかYMCA
＊　富士山部部大会は10月29日に予定されていたが、コロナの現状を鑑み、今年度は見合わます。
［11月の予定］
11月５日　第２回東日本区役員会
10日　ワイズデー（日本初のワイズメンズクラブである大阪クラブが国際協会に加盟した1928年 11月10日を記念して）
25日　YMCA大会（～27日東山荘）

次期部長・事業主任研修会は12月4日に開催日を変更します

LT委員会委員長　山下　真

次期部長・事業主任研修会は前回の理事通信やハンドブックで10月29日に開催するとお知らせしてきましたが、12月4日（日）14：00～18:00に日程を変更し、オンラインにて開催を致します。
　区の活動事業や部のあり方、組織運営について次期理事の方針提起に基づき次期部長、次期東日本区役員の皆さまより日ごろの思いをお聞かせ願い、皆さまの知恵を結実させながら「誰もが入りたくなるような魅力あるワイズメンズクラブ」に一歩でも近づくための改革に繋げていきたいと考えております。

2023年東西交流会上映する「25年の歩み」ビデオの制作者を公募します。

2023年2月4日・4日の両日神戸で行われる第3回東西日本区交流会では、25年の歩みをビデオで皆様にお見せしよう、と準備をすすめています。このビデオ制作に関わって下さる方、プロ・アマ問わず公募致します。
ビデオ編集、映像編集に覚えがある方。ふるって応募ください。
▶詳細は部長、クラブ会長宛メールでご案内致します。

YMCA報告

東日本区担当主事
日本YMCA同盟　大澤篤人（茨城）

1.ウクライナ関係
軍事侵攻から7カ月。依然として収束の見通しがたたない中、日本YMCA同盟がヨーロッパYMCA同盟およびウクライナYMCAとの連携によって日本への避難をサポート。672名(9/25時点)に、ウクライナから日本への渡航支援や来日後の生活支援を行ってきました。避難生活の長期化により心身に不調をきたす方も出ており、さらなる支援が必要となっています。

■絵本プロジェクト開始（日本YMCA同盟）
日本に避難してきた親子に心安らぐ時間を過ごしてもらいたいと、“Ukraine Café HIMAWARI”（新宿区四谷）で9月から図書の翻訳と貸し出しを開始致しました。

■ヨーロッパＹＭＣＡ同盟
今夏、ヨーロッパ各地のYMCAキャンプには、ウクライナの避難者が多数参加。共にキャンプを楽しみ、聖書に学び、国境を越えた交流を育みました。

2.世界のYMCAのトピックス
■「Vision2030」の理解促進へ、
　ダイジェスト版資料
今夏の世界YMCA大会で採択された行動指針「Vision2030」。「コミュニティー・ウエルビーイング」など4つのテーマからなるこのビジョンを各国で実践していくため、世界ＹＭＣＡ同盟がわかりやすい資料を公開しました。各テーマの意味や具体的目標のほか、大会中に共有された各国のプログラムが紹介されています。

■パキスタン洪水被害による避難民への支援
6月から続く大雨により3,000万人以上が被災、国土の3分の1以上が浸水しているといわれるパキスタンで現地YMCAは、行政や他NGOと協働して食料や水、生活物資の配布を行っている。これを受けてアジア・太平洋YMCA同盟から各国YMCAに支援要請が出され、日本YMCA同盟は2,000ドルを緊急送金した。

■スリランカYMCA　緊急パートナーズサポートグループ立ち上げ
スリランカでは政治経済の混乱により、多くの国民が飢餓状態に陥っていることから、日本を含む数カ国のYMCAによる「緊急パートナーズサポートグループ（PSG）」が作られた。食料支援のほか、閉鎖された学校の代わりに教育支援等も予定しています。またアジア・太平洋YMCA同盟からの緊急支援養要請が出され、日本YMCA同盟は3,000ドルを緊急送金致しました。

3. 日本のYMCAのトピックス
新型コロナによる行動制限が解除されたことを受け、今夏はキャンプやスポーツ大会など、対面での活動が各地で再開されました。文科省からも「子供の体験活動推進宣言」が出され、YMCAをはじめ約200の民間団体が賛同して取り組みが進められています。

4. 日本YMCA同盟からのお知らせ
■第22回　日本YMCA大会
2年に一度、全国のYMCA関係者が集う日本YMCA大会。今年は4年ぶりに東山荘で、対面式で開催の予定。各地の仲間と出会い、自らのYMCAを見つめなおす機会として、ぜひご参加いただきたいと思います。
日　程：11月25日（金）14:00～　27日13:00
対　象：全国のYMCAに関わるすべての方
会　場：日本YMCA同盟国際青少年センター
　　東山荘（静岡県御殿場）

■ウクライナ避難者へ、心のケア講座と絵画ワークを開催
“Ukraine Café HIMAWARI”
日本YMCA同盟は7月以来、東京都との協働プロジェクトにより、ウクライナの避難者宅を訪問してニーズの聞き取り調査を続けていますが、避難生活が長期化する中、不安や不眠、パニック症状など心身に不調をきたす方が増えてきました。多くの方が「罪悪感（ギルティ・シンドローム）」を抱えるなど、苦しい日々が続いています。
そんな状況をうけて“Ukraine Café HIMAWARI”では9月25日、「リフレッシュして秋を迎えよう」をテーマに、心のケアについての講座と子ども向けのアートワークショップを開催しました。

色とりどりの絵具を手に、会場は大興奮！

2022年 10月 2日

滞在予定表 - PROGRAMA DE ACTIVIDADES

年 月 日	行 動 予 定	連 絡 先	宿 泊 先
22/10/30 06:20着 （日）	アエロメヒコ航空にてメキシコ経由成田着 着後千葉クラブメンバーの出迎えを受け、 その後、新幹線で仙台へ 17:30 宮城４クラブにて歓迎夕食会 ＊北東部大久保部長出席	TC 加藤重雄 関東東部 北東部	 ホテルJAL シティ仙台
22/10/31 （月）	終日：東日本大震災被災地（福島方面）訪問 ＊宮城４クラブにて案内	TC 加藤重雄	 ホテルJAL シティ仙台
22/11/1 （火）	終日：被災地（石巻方面）訪問と、松島視察 ＊宮城４クラブにて案内	TC 加藤重雄	 ホテルJAL シティ仙台
22/11/2 （水）	09:30 仙台YMCA表敬訪問と、仙台市内視察 昼食後、仙台駅でお見送り 午後：新幹線にて東京へ（東新部出迎え） 在京の有志にて、早めの歓迎夕食会 その後、新宿へ移動	TC 加藤重雄 東新部	 東京都内（新宿）ホテル
22/11/3 （木）	新宿発７時「あずさ１号」→甲府着 8時 27分 ＊板村元理事同行 やまなしYMCA礼拝参加、バザー見学 ＊湘南 沖縄部小松部長合流 その後、サドヤワイナリー視察、県立美術館 夕刻：歓迎夕食会	東新部 あずさ部 湘南・沖縄部	 甲府市内 宿泊
22/11/4 （金）	10:00 河口湖「旅の駅」にて、富士五湖 クラブへ引き継ぎ 富士五湖方面 視察並びに昼食 小松部長の車で横浜へ＊板村元理事同行	あずさ部 湘南・沖縄部	 横浜宿泊
22/11/5 （土）	横浜 YMCA・クラブ他市内視察 江の島水族館・鎌倉視察 夕刻：中華街にて交流夕食会	湘南・沖縄部	 横浜宿泊
22/11/6 （日）	横浜 08:51発ひかり635号にて、新大阪へ 新大阪着 11:27 午後：大阪市内視察	湘南・沖縄部 TC鉄谷 明	 シティプラザ大阪
22/11/7 （月）	午前；大阪YMCA 訪問 午後；奈良 視察	TC 鉄谷 明	 シティプラザ大阪
22/11/8 （火）	終日： 大阪市内 視察 夕刻： 大阪クラブ例会に参加	TC 鉄谷 明	 シティプラザ大阪
22/11/9 （水）	午前： 新幹線にて熊本へ 午後： 熊本市視察	九州部部長	熊本市内ホテル
22/11/10 （木）	午前： 熊本 YMCA訪問 夕刻： 熊本クラブ例会に参加	九州部部長	熊本市内ホテル
22/11/11 （金）	BF代表の意向で決定	九州部部長	未定
22/11/12 （土）	午前：新幹線にて京都へ 午後：京都市内視察	京都部部長	京都市内ホテル
22/11/13 （日）	日曜礼拝 午後：京都市内視察	京都部部長	京都市内ホテル
22/11/14 （月）	空路にて、次の訪問都市台北市へ出発 関西空港 12:45発（C 1157）⇒ 台北 14:55着	京都部部長、 TC 鉄谷明	ワイズメンズクラブ台湾区手配

BF 代表の訪日は
2023年3月以降に
延期となりました

ウクライナへの募金についてのお願い

「ウクライナ募金」について
［東日本区の口座へ振込いただく場合］

◆振込口座
ゆうちょ銀行からの場合
ゆうちょ銀行
口座記号番号 ００１１０－０－３６２９８１
他の金融機関からの場合は、振込者の名前しか記載されないのでゆうちょ銀行からの送金に統一致します。
◆振込取扱票（ゆうちょ銀行）への記入方法
①「おなまえ」欄
個人の募金者‥氏名を記入（カッコ書きでクラブ名を記入）献金者が誰かを特定
クラブの場合‥通信欄に「〇〇クラブの献金」と記入ください。
②「ウクライナ」と通信欄に記入ください。

2022年12月31日まで実施中

［クレジットカードで献金を頂く場合］

下記QRコードもしくはURLはとちぎYMCAの支払いページに繋がります。

https://www.tochigiymca.org/payment/bhp.php

ウクライナ緊急支援募金

このウエブサイトでは、
クレジットカードを用いて
1,000円から献金が可能です。

東日本区事務所便り

東日本区事務所長　小林　　隆

入会者一覧　　2022/9/30

入会日	部	クラブ	入会者	紹介者・他
2022年9月3日	あずさ部	甲府やまなみ	藤原一正	仙洞田安宏
2022年9月3日	あずさ部	甲府やまなみ	米山俊彦	仙洞田安宏
2022年9月3日	あずさ部	甲府やまなみ	遠藤恭範	仙洞田安宏
2022年9月3日	あずさ部	甲府やまなみ	松本公夫	仙洞田安宏
2022年9月3日	あずさ部	甲府やまなみ	三井雅之	仙洞田安宏
2022年9月3日	あずさ部	甲府やまなみ	菅沼和也	藤原一正
2022年9月3日	あずさ部	甲府やまなみ	土橋　順	藤原一正
2022年9月3日	あずさ部	甲府やまなみ	遠藤成人	藤原一正
2022年9月3日	あずさ部	甲府やまなみ	渡辺　隆	仙洞田安宏
2022年9月3日	あずさ部	甲府やまなみ	仙洞田安宏	転入会
2022年9月3日	あずさ部	甲府やまなみ	福田奈里子	仙洞田安宏
2022年9月15日	関東東部	東京江東	滝沢圭太	小松康広
2022年9月15日	関東東部	東京江東	堀　公也	草分俊一

JEF献金

献金日	部	クラブ	献金者	金額
2022年9月30日	富士山	沼津	小林　隆	10,000
			月間合計	10,000
			年間合計	220,000

東日本区理事通信　2022年10月号
発行人：東日本区理事　佐藤　重良
編集長：東日本区書記　清藤　城宏

掲載に関するお問合せは
①メール　kuniseido@gmail.com
② FAX　050-3737-5829

2022－23年度　東日本区平均年齢

2022. 7. 1

	会員数	対象人数	平均年齢	除く担当主事	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	昨年度対象人数	平均年齢
札幌	9	9	61.9	64.9			2	2	2	2		1	8	61.6
北見	10	10	65.4	66.0				1	7	2			11	65.3
十勝	18	18	59.7	60.8			4	2	9	3			18	58.7
札幌北	8	8	75.0	78.4				1	1	3	3		9	74.0
北海道部（4）	45	45	64.1		0	0	6	6	19	10	3	1	46	63.0
仙台	12	11	70.4	70.4＊			1	2	2	4	1	1	14	70.1
前橋	6	6	68.0	72.8			1		2	2		1	7	69.1
宇都宮	31	30	63.7	65.1	1	2	5	2	4	13	3		32	62.4
仙台青葉城	13	12	52.5	52.5＊	1	2	2	3	2	2			13	53.3
*足利	3	3	78.0	－					1		2		3	77.0
宇都宮東	7	7	64.9	68.5			1	1	3	2			7	63.9
那須	7	7	62.4	67.7		1		2	1	2	1		6	71.2
もりおか	14	13	61.5	60.3		2		3	4	4			14	60.5
仙台広瀬川	15	12	61.8	62.0		1	1	3	3	4			14	60.0
石巻広域	21	21	61.4	61.6		1	4	5	5	2	3		20	61.2
北東部（10）	129	122	62.9		2	9	15	21	27	35	10	2	130	63.5
東京江東	21	21	62.0	62.2		1	2	7	6	1	4		22	60.5
千葉	11	10	65.0	65.0		1	1	3		1	4		13	67.5
東京グリーン	15	14	73.1	75.9		1		1	1	6	4	1	15	71.5
埼玉	6	6	68.5	73.4			1		1	3	1		8	70.9
東京北	11	11	74.7	76.9				1	1	6	2	1	12	73.6
所沢	15	15	66.1	67.7			3	2	2	6	2		11	60.8
東京ひがし	12	12	72.9	73.7					3	7	2		14	69.1
川越	9	7	62.7	65.2			1	2	2	2			7	60.7
茨城	7	7	60.9	64.5		1	1	1	1	3			9	60.2
東京ベイサイド	13	13	47.9	46.5		1	8	3	1				15	45.9
千葉ウエスト	9	9	70.9	75.5		1			1	5	2		－	－
関東東部（11）	129	125	64.7		0	6	17	20	19	40	21	2	126	63.7
東京	25	24	76.8	76.8＊				2	4	4	12	2	23	76.7
東京むかで	9	9	74.8	77.3				1	1	5	2		12	74.4
東京世田谷	14	11	74.0	74.0＊				1	1	6	3		14	73.0
東京町田コスモス	9	8	69.8	73.9			1	1	2		3	1	8	74.1
東京センテニアル	7	7	68.1	70.5			1	2		2	2		8	66.6
東京多摩みなみ	11	11	65.0	66.4			1	2	3	5			10	65.7
東京町田スマイリング	5	4	66.3	68.7			1	1		1	1		9	64.0
東新部（7）	80	74	71.8		0	0	4	10	11	23	23	3	84	71.8
甲府	30	30	62.6	63.0		3	4	5	8	6	4		30	65.8
東京西	12	12	79.3	82.0			1			3	7	1	12	77.3
東京武蔵野多摩	9	9	62.9	65.0			2	2		4	1		10	63.0
*松本	11	10	66.1	－			2	1	2	3	2		10	66.8
東京サンライズ	17	17	70.4	71.8			1		5	9	1		18	67.9
甲府21	53	50	61.9	62.5	1	3	8	10	10	11	7		48	63.1
東京八王子	12	12	73.5	75.2				3		2	7		13	72.4
東京たんぽぽ	7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	9	－
*富士五湖	11	11	65.8	－				1	7	2	1		11	63.8
*長野	8	8	69.0	－				2	1	4	1		10	67.1
あずさ部（10）	170	159	66.1		1	6	18	24	33	44	31	1	171	66.4
横浜	12	12	68.3	69.5		1		2	3	4	2		12	67.3
鎌倉	11	8	69.4	72.3			1	1	1	4	1		9	68.4
横浜とつか	11	10	69.8	71.9				3	2	3	1	1	12	71.5
厚木	10	8	77.5	77.5＊					1	4	2	1	12	75.7
金沢八景	11	11	67.3	69.1			2	2		6	1		11	66.7
横浜つづき	16	16	76.4	77.7				2	2	5	7		16	75.4
横浜つるみ	12	12	75.5	77.5				1		8	3		10	74.1
湘南・沖縄部（7）	83	77	72.2		0	1	3	11	9	34	17	2	82	71.5
*熱海	41	40	61.8	－		1	5	14	7	10	3		43	60.6
*沼津	15	15	62.1	－			2	6	2	4	1		15	61.1
*伊東	11	11	63.5	－				5	4	2			18	61.4
*三島	8	6	65.5	－				1	4		1		8	64.5
*下田	6	6	74.2	－						6			6	73.2
* 熱海グローリー	13	12	77.1	－				2		4	4	2	15	77.5
御殿場	12	12	68.1	68.3			1	1	4	4	2		14	67.7
富士	12	12	66.2	69.2		1	1	1	3	5	1		13	66.2
*富士宮	16	16	64.9	65.9		1	1	3	1	9	1		19	62.0
富士山部（9）	134	130	64.4		0	3	10	33	25	44	13	2	151	64.4
東日本区（58）	770	732	66.3		3	25	73	125	143	230	118	13	800	66.1

＊＝担当主事不在　または　対象人数外　　＊＝担当主事の年齢不詳のクラブ

理事メッセージ（巻末資料）

理事メッセージ

会員数の推移と推測

	人数 主事含む	人数主事除く	平均年齢 主事含む	平均年齢 主事除く	８０歳以上の人数・％	
	名	名	歳	歳	名	%
2020年7月1日	830	791	65.3	66.3	108	13.7
2022年7月1日	770	732	66.3	67.3	131	18.0
2027年7月1日	621	587	68.8	69.8	189	32.2
５年後の推測						

会員数、平均年令についてこの２年間のデータをもとに５年後を推測してみました。今後何も対策を取らないとこうなってしまう、という数字です。

平均年齢のパーセンテージ分析（2020年、2022年　そして2027年）

年齢分布　主事除く										
	2020年7月		2022年7月			１年間で増減	５年間で増減	2027年（５年後）の人数と％		
年代	名	%	名	%		＊0.5	＊5	以下すべて推定値		
20	3	0.4%	3	0.4%	0	0	0	0	＊＊	0.0%
30	36	4.6%	25	3.4%	-11	6	30	5	＊＊	0.9%
40	92	11.6%	73	10.0%	-19	10	50	23		3.9%
50	132	16.7%	125	17.1%	-7	4	20	105		17.9%
60	157	19.8%	143	19.5%	-14	7	35	108		18.4%
70	263	33.2%	232	31.7%	-31	15	75	157		26.7%
80	100	12.6%	118	16.1%	18	9	45	163		27.8%
90	8	1.0%	13	1.8%	5	3	15	26	＊＊	4.4%
合計	791	100.0%	732	100.0%	-59		150	587		100.0%

㋑　　㋺　　㋩＝㋺－㋑　㋩/2=㋥　㋥*5=㋭　ローヘ=㋠　＊＊は調整値です

2022年7月㋺から2020年7月㋑の数字を引いたものが㋩（減少数）
減少数を1年あたりにするために㋩÷2＝㋥　㋥は1年あたりの減少数。
㋭は5年間の減少数なので、㋥×5年＝㋭となる。

〈ポイント〉
①2020年→2022年　の減少数を元に2027年を予測すると　▲150名の587名となる
②2020年時点での70歳以上の会員比率は、263+100+8=371名／791　46.9%
　2022年　　70歳以上　　232+118+13=363／732　49.5%
　2027年予測　70歳以上　　157+163+26=346／587　58.9%

理事からのひと言
今回、ワイズメンズクラブ東日本区会員の年齢分布を見て愕然としました。肌で感じてはいたものの、ここまで高齢化が進行しているとは、ということです。
　クラブの平均年齢がアップする、ということは、活動元気（アクティビティ）が下がるということと、若い方の入会を阻害するということの2点が上げられます。ではどうしたらいいのか？
○70代前半もターゲットに～私がワイズメンズクラブに入会したのは73歳の時でした。(2014年12月)
　実はその時、山梨ＹＭＣＡでは道路拡幅により新しい会館を建築しなくてはならない、というピンチに陥っており、私に対して「建築」について専門家の立場で協力して欲しい、という要請を受けたのです。プロボノが活かされた瞬間でした。70代でも10年間は元気に活動出来る！そう思っています。
○そして、若い人に入ってもらうためには、若い人のための「新しいクラブ」を立ち上げること。今回甲府やまなみクラブの設立を見ていて気づいたことです。

EMC100日間キャンペーンは12月9日まで続きます。皆さんの知恵と勇気とサムシングを、私のために貸してください。

使用済み切手納品書

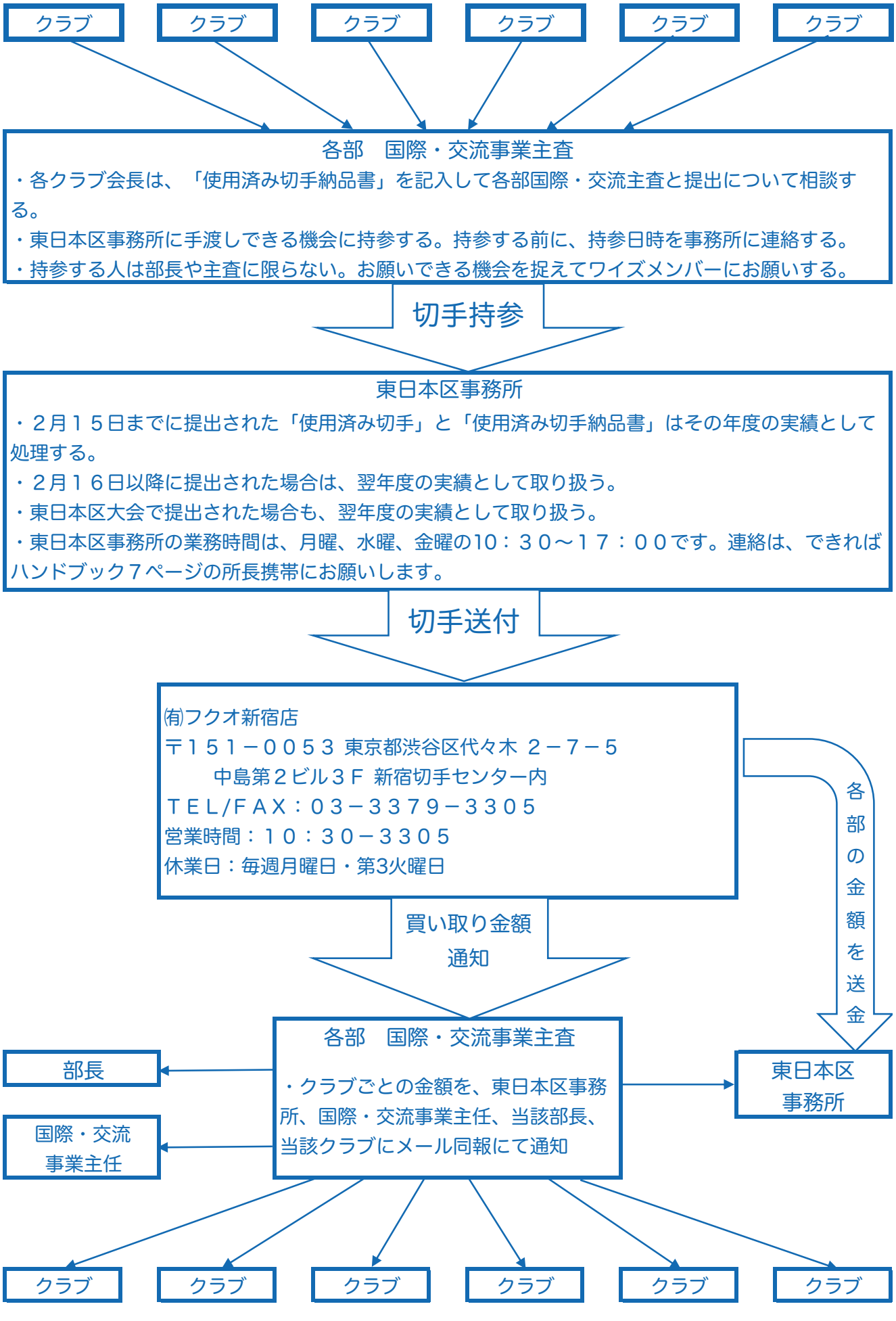
送付年月日	年　月　日
クラブ名	
会長名	
会長メールアドレス	
担当者名	
担当者メールアドレス	
送付切手重量	日本切手　・　kg
	外国切手　・　kg

東日本区事務所記入欄

受け取り年月日　年　月　日

合計金額　円

各クラブ会長は、必要事項をご記入の上、各部国際・交流事業主査と相談して、2月15日迄に、こちらの用紙と切手を一緒に東日本区事務所へ送付または持参頂きますよう宜しくお願い申し上げます。２月１６日以降につきましては、翌年度の実績となります。


クラブ
クラブ
クラブ
クラブ
クラブ
クラブ
各部　国際・交流事業主査
・各クラブ会長は、「使用済み切手納品書」を記入して各部国際・交流主査と提出について相談する。
・東日本区事務所に手渡しできる機会に持参する。持参する前に、持参日時を事務所に連絡する。
・持参する人は部長や主査に限らない。お願いできる機会を捉えてワイズメンバーにお願いする。
切手持参
東日本区事務所
・２月１５日までに提出された「使用済み切手」と「使用済み切手納品書」はその年度の実績として処理する。
・２月１６日以降に提出された場合は、翌年度の実績として取り扱う。
・東日本区大会で提出された場合も、翌年度の実績として取り扱う。
・東日本区事務所の業務時間は、月曜、水曜、金曜の10：３０～１７：００です。連絡は、できればハンドブック７ページの所長携帯にお願いします。
切手送付
㈲フクオ新宿店
〒１５１－００５３ 東京都渋谷区代々木 ２－７－５
中島第２ビル３Ｆ 新宿切手センター内
ＴＥＬ/ＦＡＸ：０３－３３７９－３３０５
営業時間：１０：３０－３３０５
休業日：毎週月曜日・第3火曜日
各部の金額を送金
買い取り金額通知
各部　国際・交流事業主査
・クラブごとの金額を、東日本区事務所、国際・交流事業主任、当該部長、当該クラブにメール同報にて通知
部長
国際・交流事業主任
東日本区事務所
クラブ
クラブ
クラブ
クラブ
クラブ
クラブ

新しいクラブの立ち上げ
Establishment of new clubs

RSD-EMC
会員増強事業主任
SETSUKO SATO
佐藤　節子

この資料は、2022年9月23日に行われたアジア太平洋地域EMC会議で私、佐藤が使ったものです。

EMCのEについて、勉強会を開催するクラブ・部がありましたら、ぜひ声をかけてください。
オンラインで佐藤理事＆佐藤節子にてご説明致します。　→清藤城宏書記までご一報ください。
メール　kuniseido@gmail.com　です。

EMC事業委員会　市川委員より、こんな言葉を戴いています。
私は当初やまなみクラブ設立の話を聞いた際、
「なぜ１つのクラブを維持するのも大変な中で新しいクラブなのか、非効率ではないのか、または喧嘩別れでもして新たに独立するのか」
というくらいに思っておりましたが、そうではない事が分かりました。

既存の年配者達の「仲良しクラブ」の中に、新しい方や若い方が入会するというのは難しく、
まして、仮に新規入会者がその中でチェンジだ改革だ、などと騒いで
皆の心の平穏を掻き乱す事は良い事と思えません。

それよりは、クラブを新たに作る事が必要なのだと理解致しました。
確かに、私もロータリーで先輩方の雑用をしたりお酌をしたりというのが嫌で、
若い人の中にも「本当は奉仕活動をしたいがロータリーやライオンズなどは性に合わない」という人がいますから、そういった受け皿としても、ワイズ（新クラブ）というのは良いと感じました。

Progress to the Establishment of Kofu Yamanami Club

甲府やまなみクラブ 設立まで

甲府クラブの場合
The case of Kofu Club (Sponsor)

❶

Kofu Club eatablished 4 clubs as each anniversry project

35 周年　　松本クラブ立ち上げ（1988.10.15）
35th Anniversary　Matsumoto Club

40 周年　　甲府 21 クラブ（1990.11.25）
40th Anniversary　Kofu21 Club

50 周年　　富士五湖クラブ（2003.5. 10）
50th Anniversary　Fuji-goko Club

60 周年　　長野クラブ（2010.10.2）
60th Anniversary　Nagano Club

「記念事業として、新クラブ設立」決定
Decided to establish Kofu Yamanami Club as a 70th anniversary event

70 周年　　甲府やまなみクラブ（2022.9.3）

❷

なぜ 新しいクラブを北口に設立するのか？
Why establish a new club in this area?

エリア

甲府市北口・文京地区
歴史・学園　風致地区　寺院 ⟶ 寺子屋塾へ
With high cultural and eduational standards

若い世代

山梨大学　甲府一高、甲府工業高
駿台甲府高　山梨英和学院中高
Attracts a youger generation

北口に新しいクラブを！

→奉仕活動を通して「街づくり」に貢献
子どもの「心づくり」

Contribute to community development and chileren’s spirit through service activities

3

ノーベル賞　大村　智先生
☆Nobel Laureate Satohi Omura

大村智・2015 年ノーベル生理学・医学賞山梨大学卒業
Graduated from Yamanashi Univ.
イベルメクチン Ivermectin
オンコセルカ症およびフィラリア症の特効薬
Nobel Prize in Physiology or Medicine

山梨文化会館　丹下 健三
☆Yamanashi Culture Hall

1966 年に完成した丹下健三の代表作品の一つで、「メタボリズム」（生物学用語の「新陳代謝」を語源とした建築運動）の象徴的な建築と言えます。16 本の円柱と梁とで支えられた存在感のある外観が特徴。半世紀を経た現在も、甲府駅の北側景観に圧倒的なインパクトを与え続けている建築です。
A master piece by a world-renowned architect Kenzo Tange

4

国立甲府病院 National Kofu Hospital

武田神社（開府 502 年）TAKEDA Shrine

山梨県立図書館 Prefectural Library

サドヤワイナリー Sadoya Winery

藤村記念館（明治小学校校舎）
Fujimura Memorial Museum

甲府市よっちゃばれ広場
交流エリア

山梨大学 Yamanashi University

ＹＢＳ山梨放送（丹下健三作）
Yamanashi Broadcasting System
building designed by Kenzo Tange

地域、子どもたちと。
Community and children

5

山梨英和中高
Yamanashi Eiwa Junior High and
Senior High

フォローの風（追い風）
Positive factors (tailwind)

５人以上で新しいクラブが設立できる
（従来は 15 名以上）
More than 5 members can establish a new club
Previously 15 or more

Change! 2022 運動スタート
新しいクラブ作りの「機運」
Movement started. Growing momentum

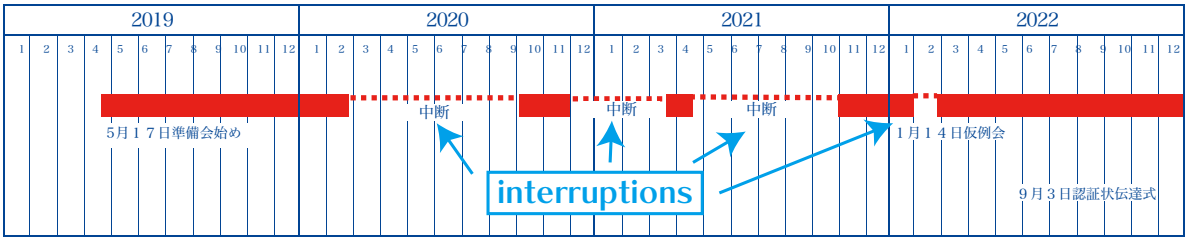
スポンサークラブ「甲府クラブ」の
全面的な盛り上げムード
Full support of Sponsor club (Kofu Club)

6

アゲインストの風（逆風）
Challenging factors (headwind)

コロナ禍（感染症の世界的流行）Covid-19
集会制限・外出制限 Restrictions on gathering and outings

甲府やまなみクラブ　準備から認証状伝達式まで Roadmap



設立準備会　　２０１９年５月１７日　より　開始　２０２１年１２月１０日終了まで

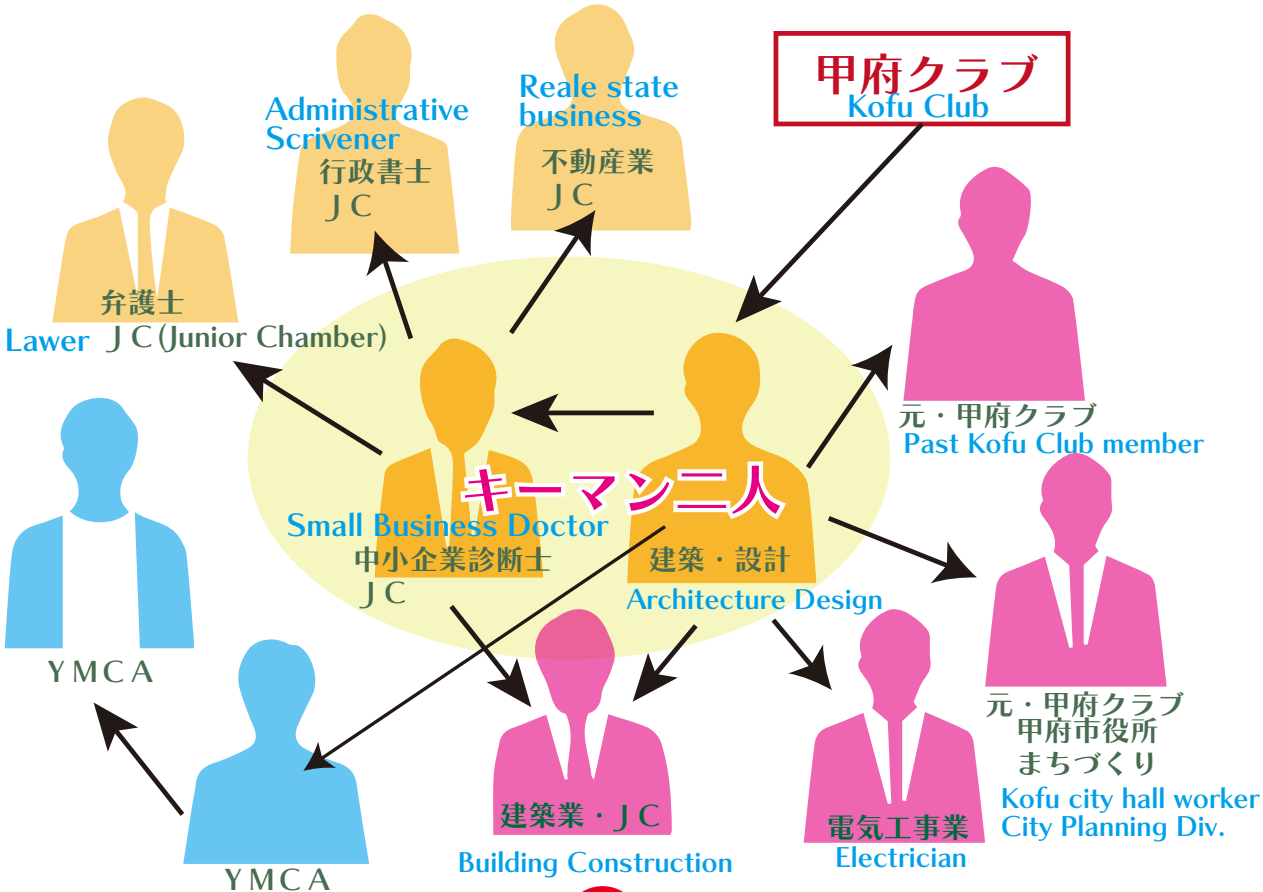
この間　延べ４回　コロナとの闘い　18か月の中断あり

Start - May 17 in 2019
Certificate Notification Ceremony
Sep 3 in 2022

諦めない　Never give up
地域の街づくりに貢献する
信念をもって結束

Contributing to local community development
Uniting with conviction

7



8